



中学 1 年生

国語

5 月 1 日

授業で使用するもの

筆記用具・このプリント(またはノートか裏紙)・Sirius

名前

ニュースの内容を簡潔にまとめましょう。

重要だと思った部分

メモ

(重要なこと、思ったこと、音分)

下書きの内容をもとに八〇字以内で要約しましょう。

[illegible]

7

慣用句編

①

まず覚えておきたい慣用句

学習日 月 日

慣用句とは、古くからの習慣で言い習わされてきたことばです。たとえば多く、ことばとことばが結びついて、それぞれにはない特別な意味を持ちます。

- ☐ 青菜あおなに塩しお……急に元気がなくなること。
- ☐ 油あぶらを売る……むだ話をして時間をつぶす。
- ☐ 板いたにつく……仕事や服装などがその人によく似合う。
- ☐ うのみにする……人の言うことをよく考えず、そのまま受け入れる。
- ☐ 馬うまが合う……気が合うこと。

例題①

次の意味の慣用句を、右から選んで書きなさい。

- (1) むだ話をして時間をつぶす。
- (2) 人の言うことをよく考えず、そのまま受け入れる。
- (3) 急に元気がなくなること。

例題②

次の意味の慣用句を、右から選んで書きなさい。

- (1) あまりよくないことを、一緒に計画する。
- (2) 自分の意見を持たず、人のあとについて行動する。
- (3) 驚いたり、あきれたりして、ことばが出ない。
- (4) すらすらとよどみなく話す様子。

- ☐ えりを正す……心を引きしめ、まじめな態度になる。
- ☐ 片棒かたぼうをかつぐ……あまりよくないことを、一緒に計画する。
- ☐ 気が置けない……遠慮えんりょがいらぬ。
- ☐ くぎをさす……あらかじめ相手によく確認しておく。
- ☐ しり馬うまに乗る……自分の意見を持たず、人のあとについて行動する。
● 附和ふわいどう雷同
- ☐ 立て板いたに水……すらすらとよどみなく話す様子。
- ☐ たなに上げる……都合の悪いことを、そのままにしておく。
- ☐ つるの一声……みんなを従わせる権力者のひと言。
- ☐ 二の句くがつけない……驚おどろいたり、あきれたりして、ことばが出ない。
- ☐ ねこをかぶる……本性ほんしょうを隠して、おとなしそうにふるまう。

□ 念をおす……まちがいがないう、相手に十分確かめる

□ ぼつが悪い……その場の成り行きで、きまりが悪い。

□ 水に流す……過去のことをあれこれ言わず、なかったことにする。

□ 水を差す……うまくいっていることのじゃまをする。

◆〈足〉を使った慣用句

□ あげ足をとる……相手の言いそこないや、失敗を取り上げて困らせる。

□ 足が出る……費用がかかりすぎて予算を超える。

□ 足もとを見る……相手の弱みにつけこむ。

□ 足を引っ張る……人の成功や勝利などのじゃまをする。

例題③

次の意味の慣用句を、右から選んで書きなさい。

(1) うまくいっていることのじゃまをする。

(2) その場の成り行きで、きまりが悪い。

(3) 過去のことをあれこれ言わず、なかったことにする。

(4) 相手の弱みにつけこむ。

(5) 人の成功や勝利などのじゃまをする。

◆〈鼻〉を使った慣用句

□ 鼻が高い……得意な様子。ほこりに思う。

□ 鼻であしらう……相手を見下し、冷たい態度をとる。

□ 鼻にかける……じまんする。得意がる。(よくない意味で使う)

□ 鼻につく……あきて嫌になる。嫌味に感じる。

□ 鼻を明かす……出しぬいて、人をあつと言わせる。

◆〈目〉を使った慣用句

□ 目がない……①大変好きである。②物事を見分ける力がない。

□ 目を細くする……うれしそうにほほえみをうかべる。

□ 目が高い……よいものを見分ける能力がある。

□ 目から鼻へぬける……①すぐれてかしい。②ぬけ目がない。

□ 一目置く……自分よりすぐれていることを認め、一歩ゆずる。

例題④

次の意味の慣用句を、右から選んで書きなさい。

(1) 相手を見下し、冷たい態度をとる。

(2) 出しぬいて、人をあつと言わせる。

(3) 自分よりすぐれていることを認め、一歩ゆずる。

(4) うれしそうにほほえみをうかべる。

練習問題

1 次の□にあてはまることばを書きなさい。次に、その慣用句の意味を後の語群から選び、記号で書きなさい。

意味

- | | | | | | | | |
|------|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| (8) | (7) | (6) | (5) | (4) | (3) | (2) | (1) |
| | | | | 鼻が | 青菜に | 目が | |
| をかぶる | に上げる | が置けない | に乗る | | | | がない |

ア よいものを見分ける能力がある
イ 急に元気がなくなること
ウ 本性を隠しておとなしそうにふるまう
エ 都合の悪いことを、そのままにしておく
オ 得意な様子
カ 大変好きである
キ 自分の意見を持たず、人のあとについて行動する
ク 遠慮のいらぬ

2

次の意味の慣用句になるよう、□にあてはまることばを書きなさい。

- (1) 費用がかかりすぎて予算を超える。
↓
が出る
- (2) あらかじめ相手によく確認しておく。
↓
をさす
- (3) 仕事や服装などがその人に似合う。
↓板に
板に
- (4) あきて嫌になる。
↓
につく
- (5) 驚いたり、あきれたりして、ことばが出ない。
↓
の
が
つげない
- (6) 相手の言いそこないや、失敗を取り上げて困らせる。
↓
をとる
- (7) 気が合う。
↓
が合う
- (8) すぐれてかしこい。
↓
から
へぬける

■ 解説 ■

- (5) 「つぼの中は空っぽ」とある。まるで残っていないことがわかるので、「全く」がふさわしい。

P 24

◇ 練習問題 ◇

1

- (1) おずおずと (2) 非常に (3) 全く (4) ただ (5) もし
(6) しばしば (7) よもや (8) しきりに (9) おそらく

2

- (10) まるで (11) たちまち (12) ありありと
(1) コ (2) イ (3) ア (4) ウ (5) ク (6) オ (7) キ (8) ケ
(9) エ (10) カ

P 25

◆ 応用問題 ◆

1

- (1) イ (2) エ (3) ウ (4) ア (5) ウ (6) イ (7) エ

■ 解説 ■

- (7) 「非常に」は「大変」という意味である。よってエが正解。

2

- (1) 妹はめったに手伝わない。
(2) 彼は剣道の経験がほとんどない。
(3) たとえ時間に間に合わなくても行く。
(4) 彼はけっして約束を破らない。
(5) まるで空に赤い絵の具をぬったようだ。

■ 解説 ■

- (1) 「めったに〜ない」を使う。文末は否定形になる。「めったに妹は〜」の順番も可。

7

慣用句編 ①

P 26

例題 ①

- (1) 油を売る (2) うのみにする (3) 青菜に塩

例題 ②

- (1) 片棒をかつぐ (2) しり馬に乗る

例題 ③

- (1) 水を差す (2) ばつが悪い (3) 水に流す

例題 ④

- (1) 鼻であしらう (2) 鼻を明かす (3) 一目置く
(4) 目を細くする

P 27

3

〈解答例〉

- (1) ・もし私が魔法を使えるなら、空を飛びたいと思う。
・もしタイムマシンがあったら、ぼくは未来に行く。
(2) ・雲の様子からすると、おそらく明日は雨だろう。
・今年の夏休みは、おそらくいそがしくなるだろう。

- (2) 「ほとんど〜ない」を使う。文末は否定形になる。「ほとんど彼は〜」、「彼はほとんど〜」の順番も可。
(3) 「たとえ〜でも」を使う。「どんなことがあっても」という内容になる。「時間にたとえ〜」の順番も可。
(4) 「けっして〜ない」を使う。文末は否定形になる。「けっして彼は〜」、「約束をけっして〜」の順番も可。
(5) 「まるで〜ようだ」を使う。たとえの表現になる。「空にまるで〜」の順番も可。

◆練習問題◆

1

- (1) 目・カ (2) 高い・ア (3) 塩・イ (4) 高い・オ

2

- (5) しり馬・キ (6) 気・ク (7) たな・エ (8) ねこ・ウ
(1) 足 (2) くぎ (3) つく (4) 鼻 (5) 二・句 (6) あげ足
(7) 馬 (8) 目・鼻

◆応用問題◆

1

- (1) × (2) ○ (3) × (4) ○ (5) ○ (6) × (7) ○ (8) ×
(9) ○ (10) ×

■解説■

- (1) 「負けたチームをじまんする」ではつじつまが合わない。「鼻であしらう」が正解。
(3) 気が置けないとは、「遠慮のいらない」という意味である。親しい人に使うことが多い。「気をゆるせない」「油断できない」という意味ではないので、注意すること。
(6) 足が速い彼に、まちがいがなく確かめる、というのはおかしい。よって「目置く」がふさわしい。
(8) 直後に「いくつでも食べる」とある。よって「大好きである」という意味をもつ「目がなない」がふさわしい。
(10) お互いをとがめないようにしよう、という内容なので「水に流す」がふさわしい。

2

- (1) ア (2) カ (3) イ (4) オ (5) コ (6) ケ (7) ウ (8) ク
(9) エ (10) キ

8 慣用句編 ②

P 30

例題 1

- (1) 言葉をにごす (2) 牛の歩み

例題 2

- (1) まゆをひそめる (2) 首をかしげる
(3) とほうに暮れる (4) 骨が折れる

P 31

例題 3

- (1) 寝耳に水 (2) 息をのむ (3) 氷山の一角
(4) すずめのなみだ

例題 4

- (1) 手に余る (2) 歯が立たない (3) 虫がいい
(4) 図に乗る

P 32

◆練習問題◆

1

- (1) 業・エ (2) 祭り・カ (3) 頭・イ (4) 額・ア
(5) きつね・オ (6) お茶・キ (7) 水・ウ (8) らち・ク

2

- (1) 横車 (2) 尾ひれ (3) 丸くする・見張る(順不同)
(4) 焼く (5) 首 (6) しり・火 (7) 回らない (8) 疑う
(9) 図

P 33

◆応用問題◆

1

- (1) キ (2) イ (3) ケ (4) ク (5) ウ (6) エ (7) オ (8) ア
(9) コ (10) カ

2

- (1) ○ (2) × (3) × (4) × (5) ○ (6) ○ (7) × (8) ○

■解説■

- (2) につこり笑って「その場をこまかした」のである。ここでは「お茶をにごす」のほづがふさわしい。
(3) 「たぬき寝入り」とは「ねたふりをする」という意味である。文のつじつまがあわないので×。ふさわしいのは「泣き寝



◆◆◆学習内容◆◆◆

中学 1 年生 国語	
学習内容	漢字テスト、Sirius
宿題	①このプリントの残りすべて（丸付け&直しまで！） ②Sirius(授業内で伝えます)

ご家庭への通信欄

塾への通信欄
